

### 第36回県経済振興賞 受賞企業の横顔

県内を中心にホームセンター(HC)46店舗を展開するほか、食品スーパーや100円ショップ、書籍やCD・DVD販売を手掛ける。それぞれの業態を組み合わせた売り場作りや小商圏への出店で、来店しやすさや買い回りのしやすさといった利便性を図る。農業分野にも参入し、契約農家が育てた野菜苗をHCで販売するなど、農家支援や地域活性化にも貢献している。

1972年、新潟市西区で日用品販売を始めた。79年にはHC1号店を巻町(現・同市西蒲区)に開店し、株式会社化。「いつでも、どこでも、誰もが気軽に買い物できる」をコンセプトに、主力の園芸

## ひらせいホームセンター (新潟市西区)

△5▽

〈概要〉本社所在地 新潟市西区▽  
資本金 4億9千万円▽売上高 299億8千万円(2018年9月期)▽従業員 1000人



「ひらせいファーム」の野菜苗が並ぶひらせいホームセンター寺尾台店=新潟市西区

## 他業態取り込み成長

### 利便性を追求 他社と差別化

やDIY(日曜大工)用品のほか、日用品などの廉価販売に努めてきた。

オープン、2000年からは100円ショップ「ダイソー」を展開する。近年はHCと他業態の複合店を出し、売り場のワンフロア化と共通レジ導入を進め、一店舗で用が済むように工夫して他社との差別化を図っている。今後、年

客にとっての利便さを追求、商材は広がった。食品スーパー「食良品館」や他業態のフランチャイジーを始め、86年にはビデオレンタルの「葦屋書店」県内1号店を

1、2店の新規出店を計画し



### 清水泰明社長の話

農家の出身なので、かねて地元の農業を活性化したいと思っていた。ひらせいファームでは、県内のコメ農家から出るもみ殻が原料

の「もみ殻堆肥」で土作りをしている。廃棄物を活用し、循環型農業も推進していく。ネットでも買える時代だからこそ、店舗では居心地のいい空間を提供したい。お客さまに夢を与え、笑顔が見られる小売業は楽しい。そう若い人に伝えて、人材も育成したい。

ている。

16年、新潟市が指定された国家戦略特区(農業特区)の規制緩和を活用して株式会社

も寄与。農家の意欲向上や収入の安定につなげている。働きやすい環境づくりに力を入れる。給付型奨学金制度を設け、パートを含む従業員の子どもが県外の4年制大学に進学する際に支給。利用者

者はこれまでに約400人に上る。70歳以上の高齢者を積極的に採用し、地域の雇用創出の一端も担っている。

小売業と農業分野を二本柱に、さらに顧客ニーズに沿った事業展開を進めていく方針だ。

(おわり)

にいがた経済

BIZ Niigata